

令和4年度 事業報告

1) 登録者：令和4年度は128名の純増があったので、合計は18,443名である。

(資料1参照)

《純増の内訳》

一般	15名	長崎ベーシックLC	3名	諫早LC	3名
諫早中央LC	12名	諫早セントリオンLC	2名	大村中央LC	4名
有家西有家LC	1名	島原LC	68名	日野江城LC	16名
波佐見LC	4名				
					合計 128名

2) 摘出角膜・眼球について

(1) 摘出角膜利用状況は以下のとおりである。(令和5年3月31日現在)

(資料1参照)

献眼者数	26名
摘出角膜数	50眼
移植利用角膜数	48眼 (17眼は、昨年度以前の保存角膜を使用)
保存眼数 (表層移植用)	14眼
※10眼は感染症検査陽性等で利用不可のため廃棄処分にした (うち5眼は、昨年度以前の保存角膜を廃棄)	

(2) 長崎県の角膜移植待機患者数 (令和5年3月31日現在)

長崎大学病院	196名	長崎医療センター	0名
佐世保市総合医療センター	0名		

計196名

【参考】角膜移植待機患者人数 (過去15年分)

平成20年度末：21人	平成21年度末：17人	平成22年度末：17人
平成23年度末：19人	平成24年度末：33人	平成25年度末：51人
平成26年度末：61人	平成27年度末：73人	平成28年度末：95人
平成29年度末：93人	平成30年度末：91人	令和元年度末：109人
令和2年度末：127人	令和3年度末：160人	令和4年度末：196人

3) 角膜の広域あっせんについて

他アイバンクへ8眼の角膜をあっせんした。

久留米大学アイバンク	6眼
宮崎県アイバンク協会	1眼
京都府立医大アイバンク	1眼

4) 会議

(1)第24回理事会（書面による決議の省略） 令和4年6月2日

内容：令和3年度事業報告・収支決算の承認、献眼等推進委員の選任
経理規程の変更、定時評議員会の開催、故 出口喜男氏への特別表彰

(2)第11回評議員会（書面による決議の省略） 令和4年6月30日

内容：令和3年度事業報告・収支決算の承認
理事・監事・評議員の選任

(3)第25回理事会（書面による決議の省略） 令和4年6月30日

内容：理事長および業務執行理事の選定

(4)第44回九州各県アイバンク連絡協議会 令和5年1月6日

オンライン（浜崎）

(5)第45回全国アイバンク連絡協議会 令和5年2月17日

オンライン（浜崎）

(6)第26回理事会（長崎大学病院会議室） 令和5年3月20日

内容：令和5年度事業計画・収支予算の承認

5) 厚生労働大臣の献眼者に対する表彰について

厚生労働大臣の献眼者に対する表彰者は26名である。

6) 賛助会員について（令和5年3月31日現在）

・個人：5名 ・団体、法人：17組織（新規1組織）

7) 普及啓発活動等

(1)令和4年5月20日

高来ふれあい会館で開催された高来公民館高齢者出前講座にて、業務執行理事
上松聖典が角膜移植とアイバンクについて講演した。

(2)令和4年7月27日

NBC ラジオ「ザ・チャージ」に業務執行理事 上松聖典が出演し、アイバンク
についての話をした。

(3)目の愛護デー無料検診

令和4年度は昨年度と同じく、新型コロナウイルス感染症の流行に鑑み検診は行わず、長崎アイバンクに登録した対象者へ検診中止の旨と長崎アイバンクの現状を文書にして送付した。

8) その他報告

(1)昨年逝去された出口喜男氏への特別表彰として、ご遺族に感謝状を贈呈した。

(2)令和4年6月7日

理事長 北岡隆が、(公財)日本アイバンク協会評議員会(オンライン)に出席した。

(3)令和4年11月14日

諫早文化会館にて日本アイバンク協会主催 アイバンクサポーター講習会が開催され、264名の参加があった。長崎アイバンクも共催として協力した。日本アイバンク協会常務理事 西田輝夫先生に講演いただいた。

(4)令和4年12月22日

長崎新聞文化ホールにて長崎北ライオンズクラブ忘年例会が開催され、業務執行理事 上松聖典が出席し、長崎アイバンクへの寄附金を受けた。